



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	デュオヒルズ札幌イースト	階数	地上14F
建設地	札幌市中央区南4条東2丁目3-1,4-15	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	76人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	434㎡	作成者	
建築面積	282㎡	確認日	
延床面積	3,363㎡	確認者	

「配慮シート」に外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>札幌市内中心部に位置することから、近隣の建物と調和のとれ、スタイリッシュなファサードとした。角地の部分をセットバックすることで歩道上空地を設け、シンボルツリーで近隣のにぎわいを確保できるものとした。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>性能評価4等級を確保し省エネルギーに配慮し、給水器具は節水可能な機器を選定した。</p>	
<p>B 省資源等</p> <p>できる限りの再生可能な建材を選定した。</p>	<p>C 緑化</p> <p>現状変更行為(緑化申請)の対象外敷地ではあるが、メインエントランスにシンボルツリーの確保とともに、道路際には植栽を設け街並みに配慮した。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>敷地内の駐車場や歩行範囲のロードヒーティングはもちろんのこと、近隣に配慮して歩道部分にもロードヒーティングを設置した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される